

# 平成27年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立吹上小学校
校長氏名	内田 敏夫
作成日	平成 28年 2月 26日

## 1 教育目標

### 新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人間を育成する

(ふ) 深く考え、進んで学ぶ子

(き) 気概をもち、めあてに向かって働く子

(あ) あったかい心をもち、なかまとみがきあう子

(げ) 元気いっぱい、体をきたえる子

## 2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	◇本年度の重点目標は、とても大切であり子どもたちには必要なことから、来年度もぜひとも進めていただきたい。とりわけ、学校の様々な教育活動を「たまも」や「学年・学級通信」を通して知らせていただくことは有意義であり今後も続けていただきたい。	◇出前授業を活用した豊かな体験活動やホンマモン体験の推進は、とても賛同できる。また、人間性を高める教育の根幹である人権意識の高揚は、各教科学習や道徳の授業を通して努めていただいているとのこと。今後も続けていただきたい。	◇指導方法の工夫改善を図ったり、自分の考えを「書く」「説明する」「つなぐ」を大切にした授業を進めることは、とても大切で今後もしっかりと進めていただきたい。また、一人一人を大切にした指導や、読書の推進、外遊びを奨励なども併せて進めていただければ有り難く思う。
取組の状況に対する意見	◆学校の取り組み・親としてどうあるべきか…といった内容を知らせてくれているので、学校の様子が良く分かったり親として考えさせられたりする良い機会となった。また、土曜チャレンジや放課後開放、各種団体への開放が功を奏し、子どもたちが伸び伸びと活動できる良い機会となっている。	◆今後とも「チーム吹上」を合言葉に、教師と子どもの信頼関係を大切にしていていただきたい。また、いろんな人と関わったり、様々な体験活動をする中で、お互いのコミュニケーション力を育むことも併せて進めていていただきたい。	◆算数科や道徳、各教科学習のみならず、体力向上のための朝のバスケットボールや陸上運動の取り組みは、御苦労だが大変良いことだと思う。希望者だけでなく全員参加となれば…と思うが。また、「うちどく」を週末の宿題にしていたら読書の良い習慣が身につくと思うのですが…。
取組の適切さの検証結果に	○様々な方法で学校の取り組みを知らせていただくことから、保護者との信頼関係が構築されている。今後も続けてほしい。 ○参観の後の懇談会への参加(特に同和・人権)が少ないように思われる。教師と保護者の有意義な交流の機会になることを望む。	○「チーム吹上」は、学校・地域・社会…みんなで吹上の子どもを育てていこうとする意識につながりとても良いと思う。 ○ゲストティーチャーによる出前授業や豊かな体験活動の推進は、子どもの感性を高める上でとても良い。今後も続けていていただきたい。	○考えを説明するために書くことは、課題をより深く理解する上でとても大切なことだから続けてほしい。また、図書室の環境づくりに力を注いでほしい。 ○体力向上のための朝のバスケットボールや陸上運動の取り組みは、とてもよく学校の勢いを感じる。今後も続けていてほしい。
改善方法に向けての意見	◎今後も重点目標に示した三項目を中心に様々な方法で取り組みを進めてほしい。また、書道教室や合唱など、保護者やOBに学校を開放していただいていることはありがたく今後も続けてほしい。	◎様々な体験活動は、子どもたちのより良い育ちにつながることは間違いない。今後も続けてほしい。 ◎今後の出前授業では、小学生のうちに「情報モラル教育」していただきたい。SNSやスマホの使い方が今後大切になってくる。	◎文武両道をスローガンに掲げて学校教育を推進することには賛成だしとても良いことだと思う。 ◎様々な学習アプリを使った授業が実現できたらと思う。

## 3 その他のご意見

◆「チーム吹上」は、私たち学校評価・評議委員会や保護者、地域の方々に活力を与えてくれた。今後は、積極的な応援や働きかけ、校区内の安全性をさらに充実すると共に、PTA活動や地域の活動、とりわけ土曜チャレンジにも積極的にに関わり、たくさんの方々に参加してもらえるような働きかけをしていきたい。